

日本一の産地豊橋で 次郎柿の出荷が最盛期を迎えます!!

J A豊橋（豊橋市／代表理事組合長 伊藤友之）の次郎柿の出荷が10月下旬から11月上旬にかけて最盛期を迎えます。今年度の次郎柿は10月11日から出荷が始まっており、生育状況は順調で、出荷は11月下旬まで続く予定です。J A豊橋では、約330人の生産者が195.5haで栽培し、出荷量は約15万ケース（10kg入り 計1,500ト）を見込んでいます。主に関東、関西方面に出荷するほか、J A総合集出荷場併設の直売所「ゆめ彩館」でも販売します。



赤く色づいた柿を収穫します

「次郎」は四角張って扁平な形をしており、やや硬めでシャキシャキとした歯ごたえと、コクのある甘さが特徴。J A管内で生産される「次郎」は全国生産の約70%を占め、日本一の生産量を誇っています。

J A豊橋柿部会では次郎柿のほか、「西村早生」^{にしむらわせ}

「早秋」^{そうしゅう}「愛秋豊」^{あいしゅうほう}「富有」^{ふゆう}「陽豊」^{ようほう}などの品種も栽培しています。

【柿の果樹園・選果場（集出荷施設）をご案内します！】

果樹園のご案内：令和3年10月18日（月）午前8:00

集合場所：平野町公民館（豊橋市石巻平野町字上郷98-2）

※平野町公民館より園地（石巻地域内）までご案内します。

選果場のご案内 同日午前9:00頃より

場所：J A豊橋 第六事業所 総合集出荷場（石巻本町字太夫橋1-2）

※収穫風景を取材いただいた後、選果場にご案内します。

※天候の状況により中止となる場合がありますので、ご了承ください。



最盛期に大量の柿が流れる様子は圧巻です

【お問い合わせ先】※取材にお越しいただける場合は、事前にご一報ください。

J A豊橋 総務部組合員課（担当：加藤・鈴木） Tel(0532)25-4105

Fax(0532)25-7754 携帯 090-3830-9165 E-mail: kouhou@toyohashi.aichi-ja.or.jp

営農部営農指導課（担当：前澤） Tel(0532)25-3552